

表3 単元の学習指導案

産業デザイン科「工業技術基礎」 単元名：デッサンⅡ学習指導案		
1 育成する能力 デッサンを通してデザイン活動の基礎・基本となる形態の観察力と表示力を身につけさせる。デッサンⅠで学習した描き方を基本に、デッサンⅡではモチーフの特徴を捉え、固有色、質感などを描き分けられるようにする。		
2 評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・静物デッサンで物の見え方、とらえ方に関する知識を理解し、モチーフに合わせて描画材料を使いこなす技能を身につけている。	・静物デッサンでモチーフのプロポーション、全体の特徴、部分の特徴、部分と全体の関係、固有色、質感などを観察・判断し適切な表現ができる。	・主体的に知能・技能を身につけたり、思考・判断・表現をしようとしていたりしている。
3 取り上げる内容 静物デッサン モチーフ（ブロック 金属パイプ 紙コップ テニスボール 布）		
4 学習計画		
	具体的な評価規準と評価方法	学習活動
第1週	1 2 3 4 ・画用紙に対して適切な大きさで、中心線を意識した構図で描くことができる。 ・モチーフ各部分の長さを測り、正しい比率で描ける。 ・モチーフを基本形態に置き換え、パースを用いて描ける。	・モチーフを観察し、プロポーションを捉えエスキースを描く。 ・エスキースを画面分割し、画用紙に写す。 ・構図、プロポーション、パースの狂いがないか確認しながら描き進める。
第2週	5 6 7 8 ・作品と自己評価を点検し、形成的に評価する。 ・光源を設定しモチーフ全体の大きな明暗を描ける。 ・面に沿った方向に丁寧にハッチングできる。 ・接地面の台に落ちる影を正しい方向と濃淡で描ける。 ・反射光を明るくなりすぎないように描ける。	・作品を自己評価する ・モチーフ全体の陰影を捉え、面に沿って描き進める。 ・接地面に落ちる影を描く。 ・反射光を描く。
第3週	9 10 11 12 ・作品と自己評価を点検し、形成的に評価する。 ・固有色を無彩色に置き換えて描くことができる。 ・モチーフの質感にあわせて鉛筆とタッチを使い分け、描き分けられる。	・作品を自己評価する ・固有色・質感をよく観察し、鉛筆とタッチを変えながら描く。
第4週	13 14 15 16 ・作品と自己評価を点検し、形成的に評価する。 ・モチーフの手前の部分ははっきりシャープに、後ろの部分はぼんやり淡い調子で描き分けられることができる。 ・講評会後に手直しをさせ、提出された作品について、自己評価表を参考に総括的評価をする。	・作品を自己評価する ・前後関係に気をつけながら細部を描く。 ・講評会でデッサンの理解を深める。 ・講評会のアドバイスを参考に、修正、加筆し、作品を完成させ提出する。 ・実習のまとめとして自己評価する。
※評価規準の詳細はルーブリックに記載する。		